



兵庫県議会議員 内藤兵衛

県政NEWS
No.26 2015.7

一日生涯

「一日生涯」は、内藤兵衛議員の座右の銘です。今日の一日を生涯と心得て、全力を出し切るという思いを込めています。

ハナシヨウブやアジサイなど、梅雨に似つかわしい花が妍を競っています。西脇市、多可町の皆さまには、ご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

今春の県議選では、三度県政の場に押し上げていただきまし

た。偏に皆さまのお支えのおかげであり、厚く感謝申し上げます。無投票への批判はありますが、これは4年間の政治活動を総合的に評価いただいた結果であると理解しています。より一層の研鑽によって、成果を地域

地域と県政を政策でつなぐ

兵庫県議会議員・自民党
県議団政調会長

内藤 兵衛

再認識
し、議員
間討論の

に還元することが期待に込める道だと確信しています。

今年度は、地域創生をはじめ、弛まぬ議会改革と議員の資質向上が大きなテーマとなっております。

地域創生では、東京一極集中

の是正や地域の元気づくりなどをめざした「地域創生条例」に基づき、効果的な地域創生戦略を今秋に策定する予定です。行政や議会だけの議論ではなく、参画と協働の精神に則って県民総参加で取り組んでいく姿勢で、議会として全力を注いでいく決意です。

また、昨年の政務活動費問題を

を受け、全国でも類を見ない厳格な制度改革を行い、適正な執行に鋭意努力しています。今一度、県民から選ばれた代表としての職責

の重さを

活発化や議員提案条例の検討などに取り組み、信頼回復への道を歩みながら二元代表制の一翼を担う県議会の責務を全うしていきます。

さて、新議会の発足に伴い自民党議員団政務調査会長の大役を拝命いたしました。県議会の過半数を制し、井戸県政の支える責任政党の政策形成を司る重要な職であり、県民、地域の切実な願いに的確に込めていく決意です。

県議会は、地域創生、行革、

議会改革と重大な課題に対応する新しいステージに立っています。課せられた使命、本質を見誤ることなく、地域と県政を政策でつなぐことをお誓いしごあいさついたします。

兵庫の地域創生へ 政策づくりをリード

自民党県議団政調会長として

内藤兵衛県議員は、改選後、初招集となった第327回定例県議会で自民党県議団政務調査会長として代表質問に立ちました。地域創生、行革、議会改革といった課題が山積する中での新議会であり、自民党は、慣例を変更して政調会長が登壇を決定、県政に対する姿勢とともに、重要政策についての対応方針を明確に打ち出したものです。

新議会で代表質問 「多様化生かせ」と提言

「多様化生かせ」と提言

内藤兵衛自民党県議団政調会長は、4会派のトップを切って代表質問に登壇、地域創生の推進、中小企業の活性化と雇用の創出、農業の再生、人づくり、行革の今後の方針など7項目について基本姿勢を明確にし、責任政党として政策遂行の決意を示しました。

中小企業活性化図れ

ふるさと愛する人づくりを

「か」と考えを質し、井戸知事は、「多様なポテンシャル、多様な地域性を活かした実効性ある施策について、市町、県民など幅広く検討する」として、地域戦略を10月に策定する意向を明らかにしました。

農業の再生では、「儲かる」ビジネスモデルの確立、新たな特産品の創出など積極提案を約束、所見を求め、知事は、専業農家の育成、収益性の高い経営への転換などが重要とし、ミラノ万博でも県産食材のPRを進めるとしました。

また、人づくりでは、「新しい教育委員制度のもと、ふるさと兵庫に愛着を

持った人づくりが必要」と提言、高井教育長は「系統的な体験活動、道徳副読本の活用に取り組んでいる」と述べ、知事と教委が思いをひとつに人づくりを進めると約束しました。

来年に最後の総点検を控える行革では、目標達成見通しを質問、知事は、職員削減、事務所の統廃合など例に挙げ、「30年には必ず収支均衡を達成する」と明言しました。

新議会で代表質問のトップで登壇した内藤兵衛政調会長



政策立案など担う政務調査会長に選任

多様な要望を反映へ

内藤兵衛県議員は、新議会の自民党県議団政調会長に選任されました。自民党は87議席(欠員1)の過半数44議席を占め、井戸県政を支える重要な役割を担っています。

都市部から農村までの各地から所属議員が選出され、県民の多様な要望について政策反映に取り組んでいます。

特に、今年度は地域創生が大きなテーマで、内藤政調会長は「兵庫が持つ強みを生かし、市町との連携に留意しつつ地域特性を盛り込んだ計画づくりが大切」と話しています。

3人の政調副会長である春名哲夫、川井田清信、伊藤傑議員を交えて、所属議員や当局との意見調整に当たっています。



ふるさとに確かな未来—内藤県議が奔る



まも 兵庫を衛る社会基盤整備を

昨今は大規模な自然災害が頻発し、本県では平成16年の台風23号、21年の台風9号などの未曾有の風水害に見舞われたほか、南海トラフ地震など常に現実的な危機にさらされています。

兵庫県は、全国に先駆けて総合治水条例を制定し、津波防災インフラ整備計画を進めるなど先進的な防災・減災対策を展開しています。井戸知事もポスト震災20年の県政運営について、安全の確保が第一の目標と決意を語っており、心強い限りです。私は、こうした防災・減災の社会基盤整備を西脇市・多可町はもちろん、県土の隅々まで広げ、災害への万全な備えを積み上げていくべきだと訴えています。加えて、県民の「備え」の支援といったソフト対策も必要で、これらが一体となることで、暮らしの中の「安心感」と「豊かさ」が実感できるのです。

地域創生を成功させるには「多様性との連携と共生」をキーワードに進めるべきですが、まずは県民が「安全・安心」を実感できる県土の発展という礎が必要です。毎年のように発生する自然災害に直面する今、日本一、世界一の安全・安心な兵庫づくりに取り組むことを誓います。

平成27年7月 内藤兵衛

第1回姫路城マラソンに出場して完走しました(2月22日)



加美区市原交流施設の竣工を祝ってテープカット(1月18日)

名所・地蔵一本桜の対岸護岸工事が桜祭りに合わせて竣工しました(3月21日)



統一選挙の兵庫県議選が告示された(4月3日)

内藤ひょうえ兵庫を衛(まも)る

Photo Report



中畑町ホテルまつりで子どもたちと(6月6日)



雨期を前に河川の安全対策を確認(4月30日)



西脇市立名教市名選室に10年ぶりに球季を指導する(5月10日)

発行 兵庫県議会議員 **内藤ひょうえ** 事務所

県政へのご意見はお気軽に 〒677-0016 西脇市高田井町341-1
TEL. 0795-23-0417 FAX. 0795-23-0418

●ホームページ <http://www.naito-hyoe.net/>
折々の考えや思いを綴ったブログを掲載しています。ぜひご覧ください



内藤ひょうえ >> プロフィール << 内藤兵衛

- 昭和33年9月14日 多可郡中町(現多可町中区)生、56歳
- 中町立北幼稚園、同北小学校、同中町中学校卒業
- 私立天理高校卒業
- 国立大阪大学法学部卒業
- 昭和57年、総合商社(株)トーメン入社。ニューヨーク本店、大阪本店、上海店勤務。平成18年10月退職。
- 平成19年4月、兵庫県議会議員初当選。6月から任期スタート
- 建設常任委員長、現・農政環境常任委員会委員
- 自民党県議団政調副会長、同副幹事長
- 家族：母、妻、一男
- 趣味：マラソン
- 好きな言葉：一日生涯